

## 障がいのある人を標的にした殺傷事件の発生について（緊急声明）

平成28年7月26日未明、神奈川県が設置し社会福祉法人かながわ共同会が指定管理を行っている障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」において、同園を利用する障がいのある方を標的とした殺傷事件が発生しました。

被害に遭われ亡くなられた方々に、衷心より哀悼の意を表しますとともに、怪我をされ入院等の治療をされている皆様の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

利用者の皆様の命と身体の安全、安心した暮らしが最も守られなければならない福祉施設において、想定すらできない凶行により、19人もの尊い命が奪われ、25人もの方々が怪我をされました。元職員という一定の信頼関係があった者が、無抵抗の障がいのある人を何のためらいもなく死傷させた事実、驚愕を覚えるとともに、亡くなられた方々、大切な家族を失った皆様、日夜支援に当たっていた関係者の皆様の無念さを思うとき、強い憤りと深い悲しみを感じます。

この事件は、職員配置が最も手薄な未明の時間帯を狙いすまして実行されたものであり、このような計画的かつ残忍な犯行は、いかなる理由があっても許すことはできません。

今回の事件によって、当協会が受託している障がい者110番相談窓口にも「障がい者は死んだほうがいいのか」等、動揺した様子で相談を寄せられた方も複数あり、障がいのある方本人、家族、関係者に大きな心の傷を負わせています。今回の事件が特異な事件と片付けられることなく、その原因や背景の究明を強く求めるものです。

容疑者は出頭後も、障がいのある人に向け、極めて差別的、侮蔑的な言葉を発し、障がいのある人の命や尊厳を否定する供述を繰り返しているように報道されております。報道関係の皆様には、特異な側面だけを一方的に報道することなく、障がいのある方に対して容疑者が投げつけた差別的な言動が障がい者の基本的人権を否定することになることを説明し、容疑者へ短絡的に同調者が出ないように、社会的連帯の視点と報道の公平性を担保いただきたいと思えます。

この報道で、実際に心に痛みを覚える方がいることをお伝えするとともに、被害に遭われた皆様が一日も早く、平穏な生活を取り戻すことのできるように特段の配慮をお願い申し上げます。

また国や地方自治体においては、障害者福祉事業所等に対し、今回の事件を受けて、「事故防止の徹底、注意喚起」等の通知を発出すると伺っておりますが、一法人・一事業所では対応できない課題もあるため、新たな支援策や広く社会に啓発することもお願いいたします。

社会的包摂による共生社会の実現を目指す我が国において、このような事件が発生したことは、現在の社会の中に、脆弱性、非寛容性が根強く存在することを指摘するとともに、障がいの有無によって分け隔てられることなく、全ての市民の人権が守られ、可能性が育まれる社会の実現に粘り強く取り組みたいと思えます。当協会も全力を挙げて努力することを表明するとともに、全ての福祉関係者の連帯を訴えます。

市民の皆様には、共生社会の実現に向けて共に歩みを進めていただきますよう、切にお願い申し上げます。

平成28年7月27日

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会  
会長 牧野善裕